

平成23年度  
定期総会資料

と き 平成23年7月22日（金）13時30分

と ころ じゅうろくプラザ 5階中会議室2

高山本線強化促進同盟会

# 総会次第

1 開 会

2 挨拶

3 祝電披露

4 議 事

議案第1号 平成22年度事業報告について

議案第2号 平成22年度収支決算について

議案第3号 平成23年度事業計画（案）について

議案第4号 平成23年度収支予算（案）について

5 決 議

6 閉 会

## 平成22年度事業報告書

自 平成22年4月 1日

至 平成23年3月31日

年 月 日	事 業 内 容
22. 6. 4	第1回幹事会を開催し、定期総会の日程、提出議案、今年度事業内容等を協議（富山市）
22. 7. 15	<p>定期総会を開催し、平成21年度事業報告及び同収支決算並びに平成22年度事業計画(案)及び同収支予算(案)を審議決定（富山市）</p> <p>〔決議〕</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 旅客輸送サービスの強化改善</li> <li>2 軌道及び保安設備の強化と防災施設の整備促進</li> <li>3 電化及び複線化の促進</li> </ol> <p>定期総会に引き続き、富山市の「JR高山本線活性化社会実験」について現地視察を実施。</p>
23. 1. 21	<p>東海旅客鉄道株式会社に対し、要望実施（名古屋市）</p> <p>〔要望事項〕</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 旅客輸送サービスの強化改善</li> <li>2 軌道及び保安設備の強化と防災施設の整備促進</li> <li>3 電化及び複線化の促進</li> </ol>
23. 2. 9	<p>西日本旅客鉄道株式会社に対し、要望実施（金沢市）</p> <p>〔要望事項〕</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 旅客輸送サービスの強化改善</li> <li>2 軌道及び保安設備の強化と防災施設の整備促進</li> <li>3 電化及び複線化の促進</li> </ol>
23. 2. 16	<p>担当者研修会を開催（岐阜市）</p> <p>〔テーマ〕 人と地域を結ぶ快適で円滑な公共交通ネットワークづくり</p> <p>〔講師〕 明知鉄道沿線地域公共交通活性化協議会（恵那市商工観光課）</p> <p>研修会終了後、第2回幹事会を実施し、今後の負担金等について協議</p>
23. 3. 30	啓発グッズを作成、配付

## 平成22年度決算書

自 平成22年4月 1日

至 平成23年3月31日

## 収入の部

(単位:円)

科目	予算額	収入済額	差引増減 (△)額	摘要
1 負担金	426,000	419,000	△7,000	
2 繰入金	0	0	0	
3 繰越金	378,852	378,852	0	前年度繰越金
4 雑入	148	110	△38	預金利息
計	805,000	797,962	△7,038	

## 支出の部

(単位:円)

科目	予算額	決算額	差引増減 (△)額	摘要
1 会議費	300,000	44,920	△255,080	総会、幹事会経費
2 事業費	375,000	349,130	△25,870	研修会開催経費 啓発グッズ作成経費
3 事務費	10,000	2,520	△7,480	振込手数料
4 負担金	15,000	10,000	△5,000	全国鉄道整備促進協議会負担金
5 積立金	100,000	100,000	0	80周年記念事業積立(H26)
6 予備費	5,000	0	△5,000	
計	805,000	506,570	△298,430	

収入合計 797,962円

支出合計 506,570円

差引残高 291,392円 (平成23年度へ繰越)

## 80周年記念事業の部

(単位:円)

前年度までの積立額 (a)	22年度積立額 (b)	22年度末残高 (a)+(b)
100,000	100,000	200,000

## 監査報告書

高山本線強化促進同盟会会則第7条第5項の規定により、平成22年度決算について、監査を実施し、証拠書類、帳簿などを精査したところ、適正に執行されていたことを認めます。

平成23年7月7日

監事 下呂商工会会長 中川 正之

平成23年7月15日

監事 富山市八尾山田商工会会長 川原 敏彦

高山本線強化促進同盟会

会長 岐阜県知事 古田 肇 殿

(原本は事務局にて保管)

## 平成23年度事業計画（案）

### 1 基本目標

高山本線は、これまで我が国のほぼ中央部において日本海側と太平洋側を結ぶ大動脈としての役割を担い、沿線各地はもとより中部圏全体の交流の活発化を図り、経済・文化の発展、向上に寄与してきた基幹鉄道である。

今後も、平成26年度末までに北陸新幹線の長野一金沢間の開業、平成39年にはリニア中央新幹線の東京一名古屋間の開業が予定されており、これまで以上に地域間の交流・連携が強化されることから、両者を内陸で結ぶ高山本線の重要性はますます高まるものと確信する。

また、本年3月に発生した東日本大震災は、各地で甚大な被害をもたらし、交通機関にも大きな打撃を与えたことは記憶に新しいが、高山本線においても、東南海地震の今後50年以内の発生が確実視されており、大規模災害時にも社会基盤としての機能を損わないような設備・体制の整備をこれまで以上に促進していく必要がある。

こうした情勢を踏まえ、本同盟会は一致協力し、高山本線の旅客輸送サービスの強化改善、大規模災害を視野に入れたより一層の安全確保に向けた取り組みを展開していく。

### 2 基本目標を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 東海旅客鉄道及び西日本旅客鉄道に対する要望
- (2) 高山本線の利用者増に向けた広報・啓発活動
- (3) 全国鉄道整備促進協議会等の関係機関との連携及び情報収集活動
- (4) その他本同盟会の目的達成に必要な事項

## 平成23年度予算(案)

自 平成23年4月 1日

至 平成24年3月31日

## 収入の部

(単位:円)

科 目	平成23年度 予 算 額	平成22年度 予 算 額	比較増減 (△) 額	摘 要
1 負担金	368,000	426,000	△58,000	19団体
2 繰入金	0	0	0	
3 繰越金	291,392	378,852	△87,460	前年度繰越金
4 雑入	148	148	0	預金利息
計	659,540	805,000	△145,460	

## 支出の部

(単位:円)

科 目	平成23年度 予 算 額	平成22年度 予 算 額	比較増減 (△) 額	摘 要
1 会議費	200,000	300,000	△100,000	総会、幹事会経費等
2 事業費	335,000	375,000	△40,000	広報・啓発事業経費
3 事務費	9,540	10,000	△460	振込手数料
4 負担金	10,000	15,000	△5,000	全国鉄道整備促進協議会負担金
5 積立金	100,000	100,000	0	80周年記念事業積立金
6 予備費	5,000	5,000	0	
計	659,540	805,000	△145,460	

## 80周年記念事業の部

(単位:円)

前年度までの積立額 (a)	23年度積立額 (b)	23年度末残高 (a)+(b)
200,000	100,000	300,000

## 平成23年度負担金内訳表

(単位：円)

団 体 名	負 担 金 額	団 体 名	負 担 金 額
愛 知 県	28,000	白 川 町	6,000
岐 阜 県	57,000	飛 騨 市	28,000
岐 阜 市	28,000	岐阜商工会議所	6,000
高 山 市	28,000	高山商工会議所	6,000
美 濃 加 茂 市	16,000	下呂温泉観光協会	6,000
各 務 原 市	16,000	富 山 県	57,000
下 呂 市	28,000	富 山 市	28,000
坂 祝 町	6,000	高 岡 市	6,000
川 辺 町	6,000	富山商工会議所	6,000
七 宗 町	6,000		
		合 計	368,000



## 決 議

高山本線は、これまで75年あまり、我が国のほぼ中央部において日本海側と太平洋側とを結ぶ交通の大動脈としての役割を担い、沿線各地はもとより中部圏全体の交流の活発化を図り、経済・文化の発展、向上に寄与してきた基幹鉄道である。

これからも高山本線の存在は、太平洋側から日本海側に至る個性豊かな日本の中央部における広域交流圏を形成するうえで必要不可欠であり、沿線地域の産業、文化、生活等の諸機能の整備とあいまって、中部圏の活性化に大きく貢献するものと確信する。

さらに、平成26年度末までに北陸新幹線の長野―金沢間の開業、平成39年にはリニア中央新幹線の東京―名古屋間の開業が予定されており、今後、北陸・東海とも首都圏・近畿圏との時間距離が飛躍的に短縮され、地域間の交流・連携が一層強化されることから、両者を内陸で結ぶ高山本線の重要性はますます高まるものと期待される。

このような中、JR東海及びJR西日本においては、今後も、より一層の安全対策、安全運行を確保されることはもとより、高山本線に関する積極的経営施策を展開し、利便性の向上に努められることが望まれるところである。

よって、我々は、高山本線の強化促進に向けて、次の事項について一致協力して、強力な運動を展開するものとする。

- (1) 輸送の安全、防災対策を充実させるため、あらゆる角度から強化改善を検討し事故防止に努めること。
  - ・危険箇所の保守点検や保安設備の強化等の積極的な推進
  - ・災害や事故発生時における機能的な連絡体制の構築
- (2) 安全で快適に利用できる鉄道施設・車両等のバリアフリー化を推進すること。
- (3) 北陸新幹線及びリニア中央新幹線の開業を視野に入れ、所要時間の短縮や列車本数の増加など、旅客輸送サービスの強化改善を推進すること。
  - ・特急「ワイドビューひだ」号の増発及び普通列車のダイヤ改善
  - ・電化及び複線化の促進
  - ・部分線増、一線スルー化、分岐の改良等によるスピードアップ

以上決議する

平成23年7月22日

高山本線強化促進同盟会